

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)馬瀬口小諸線			
事業毎の通番		1	市町村名	小諸市	箇所名(ふりがな)	柏木(かしわざ)		
事業概要	事業目的	当路線は御代田町馬瀬口地区と、小諸市を結ぶ道路であり、朝夕は(国)18号の「抜け道」として利用されているため、交通量が非常に多い。しかし当区間は幅員が狭く歩道が未整備で、車両・歩行者双方の安全に支障をきたしている。近隣には、小学校があり通学路にも指定されて歩行者も多く、地域住民、PTA、小諸市からの対策要望が高まっている。当事業は車道幅員を確保するとともに併せて交差点改良及び歩道確保により歩行者の安全確保を図るものである。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法			
	関連する事業、計画等	小諸市道路改築計画 通学路交通安全プログラム						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	東小学校 通学者 他 計画自動車交通量:3,787台/日						
	着手年度	平成29年	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成32年	費用対効果	3.9	国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=200m 用地・補償 一式 信号機移設 一式			220,000		198,000	22,000
	年度事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=40m 信号機移設 一式 用地・補償 一式			25,000		22,500	2,500
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道者の安全確保、特に通学児童の交通事故防止が期待される。					
		間接的効果(定量的・定性的)	緊急輸送路、バス路線の整備 通行車両の交通事故抑制					
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画自動車交通量:3,787台/日</li> <li>○代替道路の有無:あるが安全性が低い</li> <li>○交通結節点アクセス:バス路線</li> <li>○生活支援・観光振興・懐古園</li> </ul>					評価	A
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関連計画、重点施策との整合:通学路合同点検、小諸市道改築計画</li> <li>○緊急輸送道路の路線指定:緊急時、市の緊急輸送路に指定となる路線</li> <li>○地域指定:なし</li> </ul>					評価	C
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用便益費(B/C):3.93</li> <li>○事業期間:4年間(H29~32)</li> <li>○工法等の比較検討:なし</li> <li>○他事業との連携:小諸市道路改築計画</li> </ul>					評価	B
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近年の交通事故件数:3件(H23:1件 車両相互 H24:1件 人対車両 H25:1件 車両相互)</li> <li>○道路環境改善:安全性の向上</li> <li>○歩道整備:歩道未整備(東小学校通学路)</li> <li>○現況の幅員、半径、勾配W=5.0m</li> </ul>					評価	A
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業情報の共有:H27.7 周辺住民、区長及び小諸市へ説明会実施</li> <li>○地域の取り組み:H26.4 小諸市大井地区安全協議会から所長要望あり</li> <li>○地域の合意形成:事業目的について合意形成が図られている</li> <li>○住民との協働:なし</li> </ul>					評価	B
	部意見	事業の必要性、緊急性が高いため、平成29年度から事業化した。	行政改革課意見	現道は小学校の通学路に指定されているが歩道は未整備で、幅員が狭く、円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	B

【平面図、構造図等】(縮尺任意) 全体計画 道路改築工 L=200m C=220百万円

【標準横断面】

現況	計画

【位置図】

【整備の必要性がわかる状況写真】

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は御代田町馬瀬口地区と、小諸市を結ぶ道路であり、朝夕は(国)18号の「抜け道」として利用されているため、交通量が非常に多い。しかし当区間は幅員が狭く歩道が未整備で、車両・歩行者双方の安全に支障をきたしている。近隣には、小学校があり通学路にも指定されて歩行者も多く、地域住民、PTA、小諸市からの対策要望が高まっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	H26.11に地元区長、PTA、小諸市から要望あり。
③事業説明等の経緯	事業説明はH27.7までに地権者、周辺住民、区長、及び、小諸市に対し3回実施し、了解を得ている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	小諸市道路改築事業とあわせて施工する。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	改築は必要最小限に留めている。また周辺の修景についても検討している。
⑥地域活性化への影響と配慮	安全で快適な歩道空間の整備により沿道の活性化が図られる。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 19' 18.30" 東経:E 138° 27' 15.15"